



2020年2月13日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保 泰三
(コード番号2784 東証一部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 根本 壮一
(TEL:03-5219-5102)

特殊医薬品の新たな流通管理プラットフォームの実証実験開始について ～アルフレッサ、PHC、富士通エフ・アイ・ピーの3社が共同開発～

当社の子会社であるアルフレッサ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:増永孝一、以下「アルフレッサ」といいます)と、PHC株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮崎正次、以下「PHC」といいます)および富士通エフ・アイ・ピー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:島津めぐみ、以下「富士通エフ・アイ・ピー」といいます)は、RFID^{※1}、クラウド型インフラ基盤、IoT^{※2} 技術を活用した、新たな特殊医薬品の流通管理プラットフォームを共同開発し、実証実験を開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

医薬品市場において、スペシャリティ医薬品等の革新的な特殊医薬品が多数発売され、これまで有効な治療方法がなかった疾病に対する、新たな治療として提供されています。特殊医薬品は、従来の医薬品と比較して、保冷管理のものが多く、微少な温度等の変化によって有効成分が変質してしまう特性を持つことがあるとされ、特殊医薬品のサプライチェーンの全工程で、厳格に温度を管理し、また製品一つひとつのトレーサビリティ^{※3}を確立した上に、適切な在庫量を維持することが製品の安定供給の上で重要となっております。

アルフレッサ、PHC、富士通エフ・アイ・ピーの3社は、こうした特殊医薬品の流通に関する課題に対して、2019年3月に特殊医薬品の流通管理のための新たなプラットフォーム構築検討の基本合意契約を締結しました。基本合意の締結以降、3社が共同で研究を進め、今般、新たな特殊医薬品の流通管理プラットフォームを開発し、2020年3月よりその一部の機能について実証実験を開始することとなりました。

2. 新たな特殊医薬品流通管理プラットフォームについて

新たな特殊医薬品流通管理プラットフォームは、製薬企業から特殊医薬品が入荷され、医薬品卸を経由して医療機関に届き、患者様に投与されるまでの全ての流通過程の情報をシステムに記録しま

す。また医療機関に設置された特殊医薬品の保冷库の入出庫の情報や、医療機関で患者様に特殊医薬品が投与された際の情報も、RFID を活用してクラウド型インフラ基盤にデータとして蓄積し一元管理いたします。RFID、クラウド型インフラ基盤、IoT 技術を駆使して、特殊医薬品の流通に必要な統合的な管理を実現し、医療機関・患者様だけではなく、医薬品卸、製薬企業等、プラットフォーム全ての参加者の活動を支援いたします。将来的には、アルフレッサ以外の医薬品卸会社にも本プラットフォームへ参画していただき、業界共通のプラットフォームとして活用できるように整備と普及を進めてまいります。

3. 実証実験について

今回の実証実験では医療機関での保冷库への入庫、出荷の部分を中心に検証します。実証実験を通じて、アルフレッサ、PHC、富士通エフ・アイ・ピーの3社は参加いただく医療機関の意見や要望を収集し、各種機能の検証結果等を踏まえた上で、商用サービスの早期開始を目指してまいります。

アルフレッサの医療用医薬品等卸売事業における全国流通ネットワークと、PHCの薬用保冷库等に代表されるライフサイエンス機器の高い品質と市場占有率という強みに、富士通エフ・アイ・ピーの製薬・医薬品業界向けシステム開発の実績を活かした各種クラウド型インフラ基盤サービスを融合し、3社の知見を活かすことで、患者様に安心・安全な特殊医薬品が確実に提供されるプラットフォームの商用サービス展開に向けて検討を進めてまいります。

【特殊医薬品流通管理プラットフォームの概念図】



【実証実験で使用する機器(例)】

(薬用保冷庫)



(RFID タグを読み取る RFID アンテナが取り付けられたスマートケース)



<アルフレッサ株式会社について>

アルフレッサは、お客様や患者様が必要とする医薬品等を必要な時に、必要な量を、必要な場所へ「安心・安全・高品質」にお届けする社会的使命を担っております。日本全国をカバーする流通プラットフォームをもつアルフレッサグループの中で、北海道、東名阪、甲信越および九州を営業エリアとし、医薬品、検査試薬、医療機器等の国内外のメーカーをほぼすべて取り扱う「フルラインの品揃え」とそれを支える「万全の品質管理と安心・安全の納品体制」に加え、質の高い「情報提供力」によりお客様や患者様の多様なニーズに柔軟に即応出来るよう取り組んでおります。

www.alfresa.co.jp

<PHC株式会社について>

PHC株式会社は、糖尿病マネジメント、診断、ライフサイエンス、ヘルスケアサービスの事業分野で開発、製造、販売、サービスを行うグローバルヘルスケア企業であるPHCグループの日本における事業会社です。健康を願うすべての人々に新たな価値を創造し豊かな社会づくりに貢献することを経営理念とし、付加価値の高い製品・サービスを世界125カ国以上のお客様にお届けしています。

www.phchd.com/jp/

<富士通エフ・アイ・ピー株式会社について>

富士通エフ・アイ・ピーは、時代のニーズに応えながら事業を拡大・変遷させ、現在ではシステムインテグレーションと SaaS^{※4} の 2 つのサービスを核として、自治体や流通など様々な業界のお客様に向け、安心・安全で、高品質かつ高コストパフォーマンスの ICT サービスを提供しています。ライフサイエンス・ヘルスケア分野においても各種ソリューションを提供しており、特に医薬品卸に対する業界 EDI^{※5} サービス、製薬企業に対する医薬品安全性管理ソリューションにおいては長年お客様とともに歩み続け、それぞれ業界 No1 のシェアを有しています。

www.fujitsu.com/jp/fip

※1 RFID (Radio Frequency IDentifier): ID 情報を埋め込んだ RF タグから、電磁界や電波等を用いた近距離(周波数帯によって数 cm~数 m)の無線通信によって情報をやりとりするもの

※2 IoT (Internet of Things) : 身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み

※3 トレーサビリティ: 物品の流通経路を生産段階から最終消費段階あるいは廃棄段階まで追跡が可能な状態

※4 SaaS (Software as a Service): ネットワークを利用してアプリケーション機能をサービスとして提供するサービス形態。

※5 EDI (Electronic Data Interchange) : 商取引に関する情報を標準的な書式に統一して、企業間で電子的に交換する仕組み